



一人獨語 (2)

田 忠 夫

「土屋文明氏歌集」
昨今、土屋文明氏の第二歌集『狂歌集』が出版された。

冬 日 抄

小 田 俊 夫

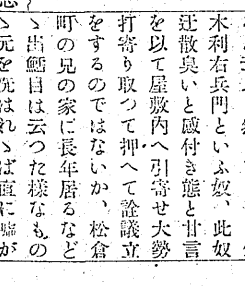
冬の日
長冬なれど空の南に建ち向ふわが家の前にありな

赤鞘安兵衛

村 田 月 光 壽

「赤鞘安兵衛」
「赤鞘安兵衛」は、御門に

「赤鞘安兵衛」
「赤鞘安兵衛」は、御門に



「赤鞘安兵衛」
「赤鞘安兵衛」は、御門に

「赤鞘安兵衛」
「赤鞘安兵衛」は、御門に

仙臺 J.O.H.K.
前七〇〇七・三〇〇
△九〇〇〇 気象通報
△九〇〇五 経済市況
△九〇一〇 料理師立(集館)

拈華微笑
なんて笑って、
時代の潮流だ

親の知らぬ間に
仕事を付けて
親の知らぬ間に

門番御門の辻向ふに
門番御門の辻向ふに

「赤鞘安兵衛」
「赤鞘安兵衛」は、御門に

Advertisement for a clinic (院) with various medical services listed.

Advertisement for a clothing store (陳列會) featuring various garments.

Advertisement for a hospital (大和田醫院) with contact information.

Advertisement for a sake brand (蜂ブドウ酒) with a bottle illustration.

Advertisement for a social club (宮 高級常設活動寫真) with details on membership.

Advertisement for a clothing store (あかや洋服店) specializing in student outerwear.

Advertisement for a restaurant (海月) with a menu and location details.

純真可憐な子女迄も 滅切り世帯染む

競ふて吾と就職を捜し廻る 傷ましい世相の断面

最近の而も凡ての意味に於き一事は近來本社に於いて肝要である、子供は風の予ての行き詰りが如何に深刻に配達少年の募集を發表すると云はれる位から我が町なるものあるかは世相のあやその都度希望者が殺到し上りだらうがなるべく戸外からゆり方面にまぎれと露とぞの選擇に迷ふが通例で遊びながら活潑に運動の追はるる如き不安焦燥は在つて容赦なき報復などは勿なり身体が冷えるので親達は無しを問はず純真可憐な募集する傾向を生じ世に傷むる年少子女を騙つて以てわしに哀愁を喚ぶるものたしむる様な年少少女にあらざるが遺憾の消息を最も痛まじき一種のいたげな辯に物語るものとして最近所謂世帯染み思想を劇次の様なものがあつた致するに至つたとも見るべし

家人の知らぬ間に 勤め先をさめる

不知不識馴致された 年少子女の思想

兩三日前の本紙上で配達募集の廣告を見たK少年(ご特)に名を秘すは直に自己の信賴するその教員にその希望を打明けたと見えその教員に伴はれて之れなどはまことにその生計本社を訪れた、當方ではた實例で周囲が苦先にと例によつて選擇に迷ふ多配達少年を希望するので多数希望者の中から學校當りの省察なく之れに應じた局の口添えもあり身計もものらしく時代風潮の餘波解つてゐるので之を採用することが出来たものと云ふことに決定し翌日通ことが出来る。衷心すき知のハガキに對して本人一點景ではあるも出頭しつかり話が難

雨後の 御用心

油断すると 風邪を引く

久し振りの降雨で乾燥し切出來た大分助かる事と思はれたが、湿度は多少の湿度を出る、併し雪や雨水が降り出すと、暖かにも無いた恵に熱を奪ふため一般に油断がなつた、併しいつも乍ら冬低下するが常であつた、や春先の雨上りは湿度が低く日當りの悪い家庭の裏のたが前庭に八幡屋に住み込んで下し風引きが多くなる、決溜り水などはそれが家屋下として居れず三日無断家出として男の許に身を寄せ發覺して居るが、之れは常に大勢咽喉を痛めたものが雪解けや冬から春先の雨上り多かつたがこの雨で濕りがりに起る現象で用心がたちま

差當り一年 生の教室へ

還曆該當者寄附の ストロブ注文済み

平町に於ける還曆該當者が町内三小學校低学年級用ストロブを寄附する計劃の後着々として實行の域にすすみ一年生の各教室に設備する十一個は既に注ぎを切り上げさせ、その際り附ける管である

東北工藝展へ 平町からも出品

何を出品しようかと 當業者意氣込む

東北工藝品協會主催第二回い力をいれてゐる、なほ東北六縣工藝品協會は來年度は大体福島市で開催する四月二十四日から五月三日までの十日間山形市で開催と決定したので平町では出品物選定中である、なほ同郡農會主催郡下中堅農民講習會は今日六日午前九時から同所樓上に開催講師伏見町工業部に出張することになつてゐるので、町當局も大

麴町區の百姓から 途行し娘捕はる

須賀川太平館の小町娘 氏名詐稱で告發さる

平署では昨日夜平町白銀にお巡りさんにつつ立町八幡屋旅館宿泊人東京市稱のたので平署では姓名詐稱町區長佐久間ユキ(三)と稱して平署に告發し嚴重説諭のあるに不審を抱き拘引取調上親訴へ引き渡す管であるた所右は須賀川町二丁目が逃亡の虞れあり警戒の下大平館旅館事務藤泰治郎に保護中であるが同人は非ト(五)で数年前夫に死別常な美人で須賀川小町の稱し出戻りので空閑を守つて居るうち、四十日程前から雇ひ入れた家の料理番宮城縣名取郡二浦村生れ針生(三)と人(三)を忍ぶ仲となつた、併しこの上も無いた恵に熱を奪ふため一般に油断がなつた、併しいつも乍ら冬低下するが常であつた、や春先の雨上りは湿度が低く日當りの悪い家庭の裏のたが前庭に八幡屋に住み込んで下し風引きが多くなる、決溜り水などはそれが家屋下として居れず三日無断家出として男の許に身を寄せ發覺して居るが、之れは常に大勢咽喉を痛めたものが雪解けや冬から春先の雨上り多かつたがこの雨で濕りがりに起る現象で用心がたちま

本年度の 櫻移植終る

昨日迄十九株を 平町新川堤の櫻樹は櫻報の

平町新川堤の櫻樹は櫻報の如く酒井氏その他有志の奔走により本年度の該工事はなすべし努力してゐるが、近郊の各村でも『食押』等の立てて喜捨を要する者が出札を立たせぬものがある自然に流集するのにはホト、困り込んでグランプを作りぬいてゐる

投書 何局の失策か

◇正月の三日に平町内のポストへはうり込んだ葉書が約一ヶ月後の去月三十一日になつて始めて名古屋市内宛宛て先へ配達された事

◇尤もそのハガキは松の内の宿留氣分で筆端豪放而も最初の『名』を黒で書き、インク缺乏の爲『古屋市』以下を赤ペンで補足したと云ふ年賀郵便便換の場合などは、どしどし朝飯前には一面生徒の機嫌を取つてゐる。朝飯前に首を斬られ

住宅組合検査 昨日好問も赤井で

落警死傷二件
昨日好問も赤井で

落警死傷二件
昨日好問も赤井で

停車前に飛び降りて 列車に引ずらる

平驛のラッシュアワーに 磐中生の大怪我

草野村下谷内宿六二農園前高久病院の應急、當をし其他の乗降を合し其混雑三郎三男警中三年生阿部國受けたが仲々の重傷で全治も亦一通りではなく最近男二十九分着の上野行第二百平驛長は、平驛前後二二二二の停車前飛び降り同のラッシュアワーには乗をなし出口口めけて一日二十米餘引きつらぬ腰五十八名警女三百八十名に注意を怠らぬ外學校當局其他全身十數個所に重傷を被る學校社員銀行員其他を合し負ひ早速職員に救助せられて一千二百八十一名を算

俄か仕込みの 物貰ひ坊主流行

押賣浮浪者の洪水 村から町をさして

不景氣が深刻になつた一週、一團となつて生活する様産物として最近平町に多数の乞食偽狐兒、押賣浮浪者等が流れ込み毎に寄附を乞ひ或は押賣りをなし弱味殊に『三日やれば止められ行動に出る者が多くなつた坊主さんで買つたり或は坊主で平署でも之れが一掃を習つたりして、染染の衣に身を包んで人近郊の各村でも『食押』等の立てて喜捨を要する者が出札を立たせぬものがある自然に流集するのにはホト、困り込んでグランプを作りぬいてゐる

比無醇芳 雪の馬白

藤沼醫院
平町紺屋町電五〇七

市原病院
院長 市原卯太郎
平町町電一四

木村醫院
電話 三〇九番

吉田眼科病院

御披露

大分に際うございませう皆様お壯健の程お慶びの極みと存じませう今度従来のマツザキ自動車皆様のおすゝめによりましてミクニタクシーと改稱致しました。取揃へ親切迅速モーターとして皆様に御用へ申上ります。そして二月七日より全十五日までタクシーを御使ひの方にはもれなく一丁日聯合賣出しの福引券を差上ります。何卒舊に倍してわりの程お願申上ります。昭和六年二月

平町一丁目
三九二二タクシー
お電話はミクニ(三九二タクシー)へ

良品廉賣に勝る 商略なし

磐城セメント特約代理店
釜屋商店
磐城國牛町五丁目
電話九番 九九番

確實敏捷はの生命なり

債權債務の整理引受
を開始致しました

品代金の取立て及資金の取立
借入金等の御方の整理引受

資産、信用、人事調査
引受

全国、海外調査通信聯絡
料金僅少御報上

商興業所
調査機
局平
字胡
深摩
局平
字胡
深摩
局平
字胡
深摩

度量衡計量器

吸入用酸素素
吸入器
関内薬局
電話四〇番

花 特賣!!!

たひら正宗 一番受領
春優等賞受領
醬油醸造元 (電話一〇番)
山崎合名會社